

大規模水害時の情報共有体制“流域連携WEB会議”を構築します！

～第6回『加古川減災対策協議会』を開催～

R2.5.22

姫路河川国道事務所

姫路河川国道事務所では、加古川において沿川市長・兵庫県・国で構成する『減災対策協議会』を設置して、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に実施するための連携した取り組みを進めています。

第6回協議会ではWEB会議にて、令和元年台風19号などを踏まえ、「施設の能力には限界があり施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生する」ことを改めて確認し、大規模水害時の関係機関との連携強化に向け、**新たな情報共有体制“流域連携WEB会議(仮称)”を検討・構築する**とともに、令和元年度の各機関の取り組み内容を共有しました。

※詳しくはこちら→https://www.kkr.mlit.go.jp/himeji/iin/kako_gensai/kako_gensai6.html

概要

対象河川：加古川水系加古川

- 日時：令和2年5月22日（金）15：00～16：00
- 場所：姫路河川国道事務所4F 会議室
(WEB会議システムにて開催)
- 参加者：加古川市長、高砂市長、小野市長、加東市長、
姫路河川国道事務所長、神戸地方気象台長、
東播磨県民局総務企画室長、加古川土木事務所長、
北播磨県民局総務企画室長（代理）、加東土木事務所長



【議事】

- (1) 規約の改正について
- (2) 令和元年台風第19号について
- (3) 流域連携WEB会議（仮称）について
- (4) 加古川の減災に係る取組内容について
 - ・姫路河川国道事務所の取組
 - ・気象庁神戸地方気象台の取組
 - ・各市の取組
 - ・兵庫県の取組

【主な意見（抜粋）】

- 流域連携WEB会議（仮称）の構築について、関係機関と必要性を確認。**
 - ・コロナ禍においては、特に浸水リスクに応じた避難行動について周知することが重要。
 - ・避難場所における新型コロナウイルス感染症への対応（備品等）について、情報共有をしていきたい。

【会議の様子】



岡田 加古川市長



都倉 高砂市長



蓬菜 小野市長



安田 加東市長

本会議ではオンラインで資料を共有しながら進行了ました。

【各市の取組（抜粋）】

加古川市：市内在住の防災士を対象に、**防災リーダー育成のための学習会を開催**

高砂市：「やさしい日本語」を使用し、**災害時の外国人支援のための「互いを知り、災害に備える」研修会を実施**

小野市：マップ保有率を高め、マップを再確認するきっかけとなる「防災お守りくじ」を付与した**L2対応ハザードマップを作成**

加東市：要配慮者利用施設の**避難確保計画の作成支援と避難訓練を実施**

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所 調査課
〒670-0947 姫路市北条1-250 TEL 079-282-8211



※WEB会議のためマスクを着用していない場合があります。